

---

**無題**

トラ

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無題

### 【Nコード】

N0327BA

### 【作者名】

トラ

### 【あらすじ】

特になし。ただの息抜き小説（・・、）

## ブローグ

「  
」

軽快な足取りで少年はとある場所へと向かっていた。

少年の名前は笠外龍騎、クセの強い天然パーマ特徴的で中性的な顔立ちをしている。

少年は唐突に足を止め、目の前の扉を一瞥した後、手を胸に当て、静かに呼吸を整える。

よしつと聞こえるか聞こえないかぐらいの音量で言い放ち、扉を開けた。

その空間は何もなかった。

部屋は目が痛くなるほど真っ白で、まるで自身が浮いてるかのよう  
に錯覚させる。

少年はその空間に少し面を食らっていたが、直ぐに立ち直って、  
部屋の中央へと向かう。

そこにはそれまた白い台があった。中央に丁度てが入れられるほ  
どの穴が開いている。

少年は迷うことなくその穴に手を入れた。

少し痛みが走ったようで、少年の顔は歪んでゆく。

やがて苦悶の表情から、普段のお気楽な表情へと戻り、手を抜こうとする。

その手にある確かな重厚感に胸を躍らせながら。

「武器を認証完了、適正確認…… ok 武器の生成…… ok 決まりました、武器名称は……」

「ユニークランクの武器、モロバノツルギ 特性 呪われている、武器使用时、生命の有るものに与えるダメージと等価のダメージを受ける。 威力増幅 第二段階移行…… 未明」

「……はい？」

少年は素っ頓狂な声をあげ、手にある武器を見た。

そこには全ての苦痛を再現したかのような禍々しい装飾がなされ、剣身に黒い靄が掛かっている

呪われた武器があった。

「……ええええええー！」

少年はなんの抵抗もなく、そのまま今の心情を叫び声で吐きだした。

それは具現武器と言われ、生涯のパートナーとなる己の剣であり  
そして化身である。

そのなかで一人の少年、龍騎は呪われた武器を手にした。

これはそんな何ともいたたまれない少年の物語。<sup>ストーリー</sup>

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0327ba/>

---

無題

2011年12月31日21時01分発行